

裏面白紙

宗

明治七年七月十一日

官報報告

立案明治七年七月十一日  
決裁明治 年 月 日

宗秩寮總裁

宗秩寮主事

大臣承知

次官

陸軍一等軍醫正從五位上勳四等功四級福井  
治昌外五名 係任一件

同覽  
昭和八年八月一日

八月十一日  
九月五日

宮内省  
明治七年七月十一日

五

201





陸軍一等軍醫正從五位勲四等功級福井治昌  
外五名叙位ノ件  
右謹テ奏ス

明治四十四年七月十日

内閣總理大臣公爵桂太郎



内

閣

707



陸 一五〇

七ノナリカク

明治四十四年七月八日

内閣書記官

内閣總理大臣

内閣書記官長

*(Signature)*

陸軍一等軍醫正後五位勲四等功四級福井治昌  
外五名ハ高等官在職十年以上ニシテ勤勞  
不尠候處今般豫備後備註退官ニ付叙位  
進階内則第四條ニ依リ特旨ヲ以テ位一  
級可被進旨上奏相成可然

内閣

陸軍一等軍醫正後五位勲四等功四級福井治昌

海軍中佐正六位公 峰 逸平

陸軍歩兵大尉後六位勲五等功四級吉井信照

陸軍歩兵少佐公 勲四等功五級箕浦清見

公 勲五等 新居友三郎

海軍中尉正七位公 功六級田中祐可

特旨ヲ以テ位一級被進

後五位勲四等功四級福井 治昌

叙正五位

203



裏面白紙

正六位勲四等 峰 逸平

叙從五位

從六位勲五等功四級 吉丹 信照

今 勲四等功五級 箕浦 清見

今 勲五等 新居友三郎

叙正六位

正七位勲五等功六級 田中 祐可

叙從六位

内 附

204



裏面白紙

別紙陸軍一等軍醫正福井治昌以下二名今般豫備  
被仰付候處高等官ニ任セラレ以來十年以上  
在職勤勞不尠者ニ付文武官叙位進階内則第四  
條ニ依リ特旨ヲ以テ各位一級進メラレ度  
謹テ奏ス

明治四十四年六月二十八日

陸軍大臣伯爵寺内正毅



陸軍

205



裏面白紙

206

正	正
六	五
位	位
明治四十四年六月十九日豫備	明治四十四年六月十九日豫備
陸軍歩兵大尉從五位勲五等功四級吉井信照	陸軍醫正從五位勲四等功四級福井治昌

陸軍



裏面白紙

別紙陸軍歩兵少佐箕浦清見今般後備被仰付候處高等  
官ニ任セラレ以來十年以上在職勤勞不尠者ニ付文武官叙位進  
階内則第四條ニ依リ特旨ヲ以テ位一級進メラレ度  
謹テ奏ス

明治三十四年 六月二十八日

陸軍大臣伯爵寺内正毅



陸軍

207



正

六

位

明治四十四年六月二十日

陸軍

歩兵

少佐

從六位

勲四等

功五級

眞浦

清見

陵

軍

裏面白紙

208



海軍中佐正六位勲四等峰 逸平

右叙從五位

謹

奏

明治四十四年六月二十一日

海軍大臣男爵齋藤

實



海

軍



海軍中尉正七位勲五等功六級田中祐可

叙從六位

奏入

明治四十四年六月二十一日

海軍大臣男爵齋藤

實



海軍



正六位滿十年以上元警視從六位勲五等

新居友三郎

右區長ニ就職ノ故ヲ以テ退官ノ處多年奉職勤勞不怠者ニ付敘位進階内則第四條ニ依リ頭書ノ通特ニ位一級進メ之度謹テ奏ス

明治四十四年六月廿日

内務大臣法學博士男爵平田東助



内務省



裏面白紙

位第三

敘位上奏、件

明治四年六月二十日陸軍大臣伯爵寺内正毅

内閣總理大臣公爵桂 太郎殿



- 一陸軍一等軍醫正福井治昌以下二名持旨進位、件
  - 一陸軍歩兵少佐箕浦清見持旨進位、件
  - 一馬政局技師村井半之助以下十八名進位、件
  - 一陸軍砲兵上等工長石井金三郎以下三名進位、件
  - 一陸軍憲兵特務曹長關本卯右衛門以下十二名敘位、件
- 右進達候也

陸 軍



明治四十四年六月二十一日

海軍大臣男爵齋藤



内閣總理大臣公爵桂 太郎殿

峰海軍中佐ハ明治二十五年十二月二十七日任海  
 軍少尉以來在職十六年餘其間克ク其任務  
 ヲ盡シテ勤勞不欺殊ニ明治二十七八年及全  
 三十七八年戰役ニ從事シ勲功ヲ奏シ在職中  
 ノ功績顕著ノモリ候處本月十五日豫備  
 役被仰付候ニ就テハ文武官叙位進階内  
 則第四條ニ依リ特ニ位一級被進度別紙

海軍

上奏書進達ス

根本

13



明治四十四年六月二十一日

海軍大臣男爵齋藤

内閣總理大臣公爵桂 太郎殿



田中海軍中尉、明治三十二年一月十九日任海軍  
 兵曹長以來在職十年餘其間於勤勞不  
 懈殊<sub>ニ</sub>明治三十三年清國事變及全三十七八年  
 戰役<sub>ニ</sub>從事<sub>シ</sub>勲功ヲ奏<sub>シ</sub>在職中功績顯著  
 就<sub>テ</sub>文武官叙位進階内則第四條依<sub>リ</sub>特  
 位一級被進度別紙上奏書進達ス

海軍



裏面白紙

別紙 新居友三郎

上奏書進達ス 敬位 一件

明治四十四年 六月廿日

内務大臣法學博士男爵平田東助



内閣總理大臣公爵 桂 太郎 殿

内務省

115